Life Balance
institute of
New York
ニューヨークライフバランス研究所

NYLB
著作物利用ルール

制定：２０１９年１０月２５日
改定：２０２０年4月２５日

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

概要

- 本著作物利用ルールは、ニューヨークライフバランス研究所（以下「NYLB」という）または、当社の役員、従業員が公開、開示したテキスト、画像、動画、映像等の著作物（以下「当社著作物」という）に適用されるものとします。

- 対象は、当社著作物を「ご自身のSNSで引用する」、「ご自身の講座で引用する」等、利用される方全てです。

- 当社著作物を利用される方は、本著作物利用ルールに従ってください。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

目次

1. 本ルール制定の目的
2. NYLBの著作物
3. NYLB著作物利用事例・ルール
   ① SNSで講座の感想をシェア
   ② 自身のコミュニティで事例として紹介
   ③ NYLBが作成した図表等の引用をする
   ④ 書籍を使った勉強会
   ⑤ 書籍・テキストを引用した独自講座の開催
   ⑥ SNSやHPで書籍を紹介
   ⑦ 当社ロゴの使用
   （参考）一般的な引用ルールの遵守
   （参考）引用のイメージ　SNSで研究論文を紹介

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

１．本ルール制定の目的

著作物や著作権の話を深堀りしていくと、著作権法や判例などの専門的な領域に触れていくことになります。

ただ、誰もが専門的なことを理解しきれるかと言うと、難しいと思います。

NYLBの私達は、科学的根拠に基づくポジティブ心理学の適切な知識を普及・啓蒙し、幸せな人生を創造していける人を増やすことを大切にしています。

この適切な知識を普及・啓蒙するために、そして誰もが当社著作物を利用する際に迷わないように、本ルールを制定致しました。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

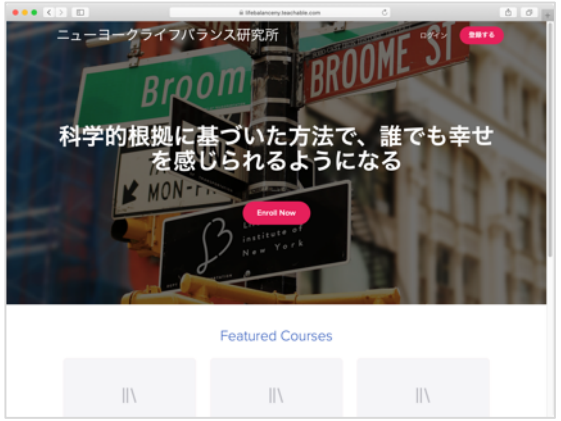
２　NYLBの著作物利用の考え方

Life Balance
institute of
New York
ニューヨークライフバランス研究所

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

2．1　NYLBの著作物

NYLBが公開・限定的に開示する書籍・テキスト・ホームページ・写真・動画・ロゴ等
全てが当社著作物であり、本ルールの適用対象です。



Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

２．２　NYLB著作物利用の基本的な考え方

研究者、著作者、講師に敬意を払いつつ
講座や書籍で学んだことについて
正確な情報を展開することを心がけてください

厳密に情報を展開したい方は、後述する一般的な引用ルールに従ってください。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

３．NYLB著作物利用事例・ルール

Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

① SNS（無料・有料の区別無し）で講座の感想をシェア

Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

「講座で紹介されたこと」と「自身の体験や考え」は分けて書きましょう。
講座内容やテキストを丸々と投稿することはNG！

OKな投稿のイメージ

今日、NYLBの講座に行ってきました。
＊＊＊＊

講座の中でびっくりしたのは、＊＊であるということ。

幸せな子どもを育てるためには支援的な子育てをすることが大切と紹介されていました。

私は、今までどうしてもガミガミと怒ってしまう傾向があったのですが、今日の話を聞いてハットさせられました。＊＊＊

講座の内容

自分の
体験や考え

NGな投稿のイメージ

今日、NYLBの講座に行ってきました。
＊＊＊＊

講座で紹介されたことのメモを記載します。
- ＊＊＊
- ＊＊＊
- ＊＊＊

ひたすらメモのみ

自分の体験や考えは無い

本ケースは、ご自身の投稿が「限定的（例 オンラインサロン）」か「無料か有料か」に関わりません。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

② 自身のコミュニティで事例として紹介

Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

**ご自身のコミュニティで事例として紹介する際も①と同様です。
引用のルールを遵守してください。**

OKな紹介イメージ

〇〇勉強会　レジュメ

＊＊＊目的や説明

ご自身で構成
メインはあく
までもご自身

□幸せな子どもを育てるためには支援的な子育てをすることが大切

引用ルールを
守る

「子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 ー日本における実証研究ー」神戸大学 西村和雄、同志社大学 八木匡 2016 *1
https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/16j048.pdf

NGな紹介のイメージ

〇〇勉強会　レジュメ

松村亜里さんの講座で紹介メモ。

- ＊＊＊
- ＊＊＊
- ＊＊＊

講座のメモのみ

講座のテキストを貼り付け
引用ルールに従わない

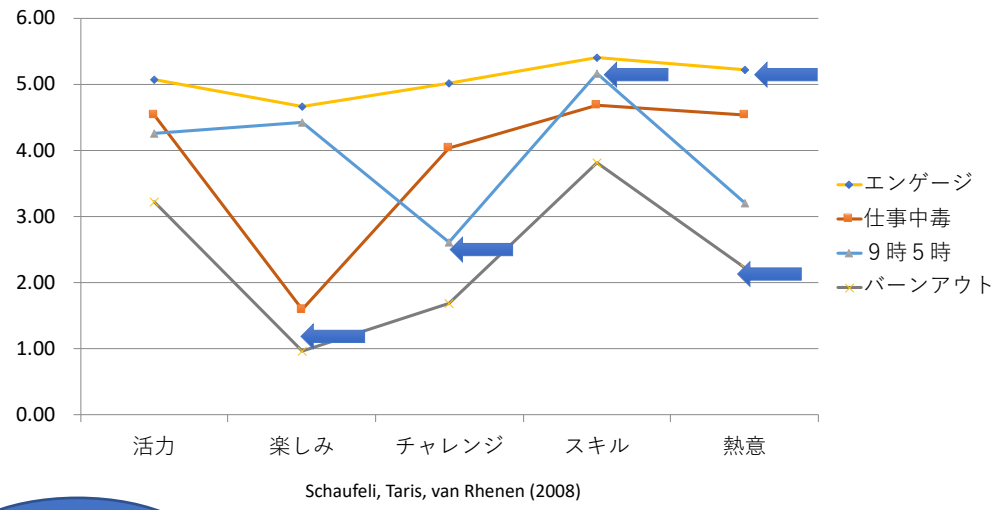
Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

③ NYLBが作成した図表等の引用をする

NYLBでは原著の論文をもとに分かりやすく可視化や解釈をしています。
引用時もNYLBが記述したクレジット表記を遵守してください。

その他のルールは、後述する一般的な引用ルールに従ってください。

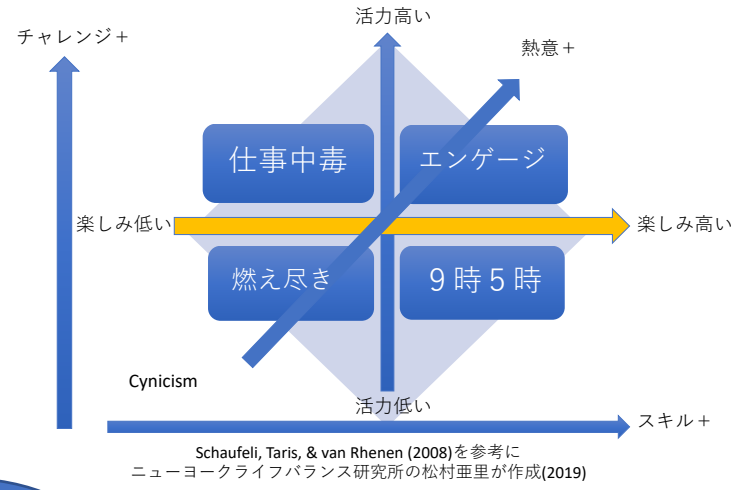
原著のママの図表の場合



引用時

Schaufeli, Taris, van Rhenen (2008)

NYLBが新たに作成した図表の場合



引用時

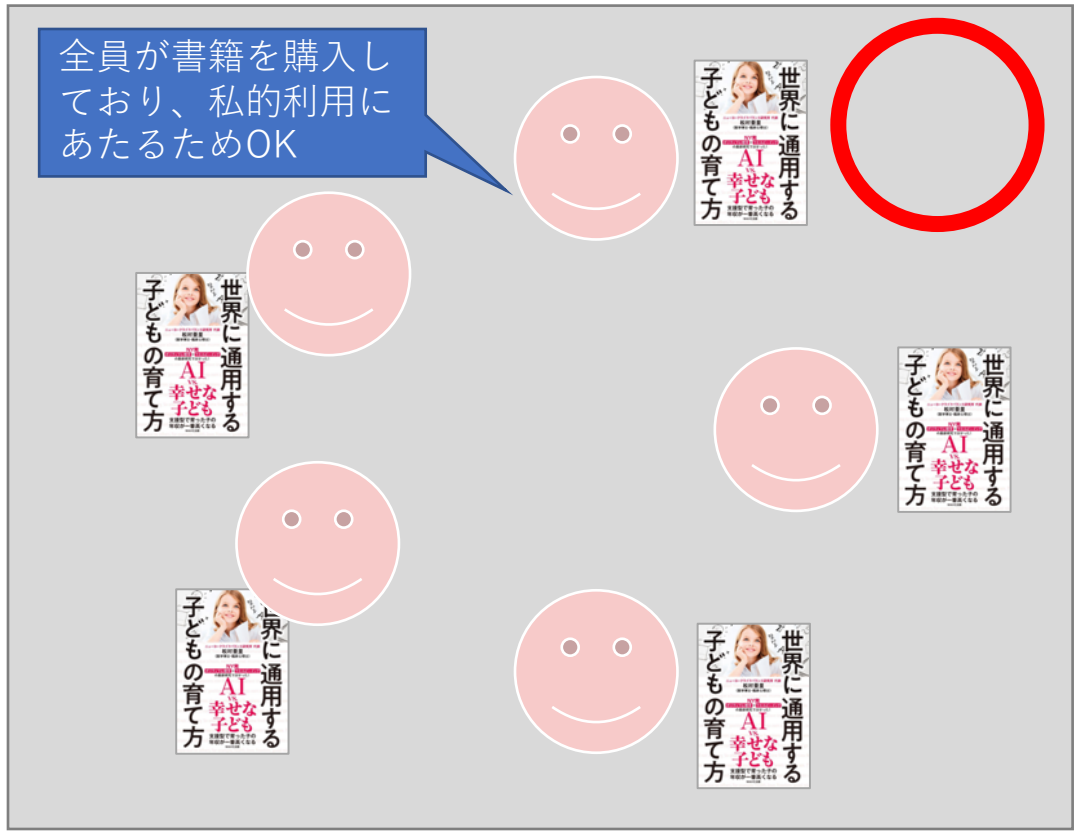
Schaufeli, Taris, & van Rhenen (2008)を参考に
ニューヨークライフバランス研究所の松村亜里が作成(2019)

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

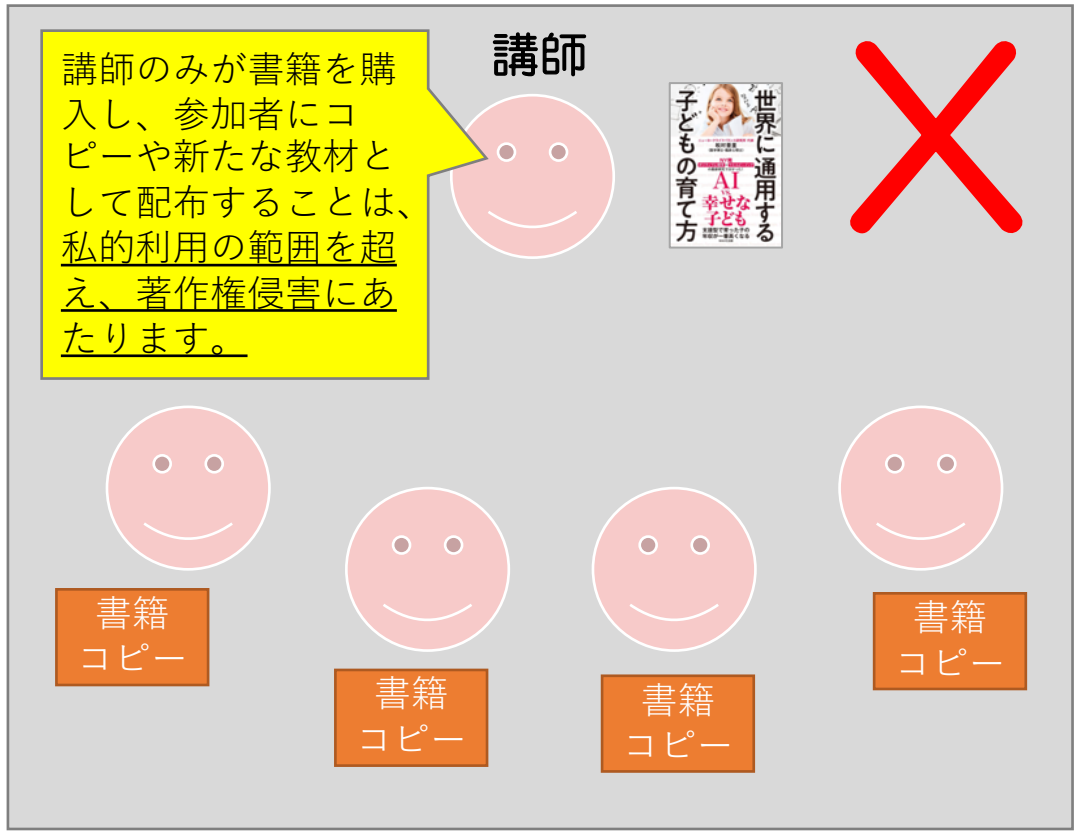
④ 書籍を使った勉強会

書籍を使った勉強会は、購入された方同士で自由に出来ます。
ただ、適切な知識を広めるために、NYLB認定講師となることをオススメします。

OKな勉強会のイメージ



NGな勉強会のイメージ



Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

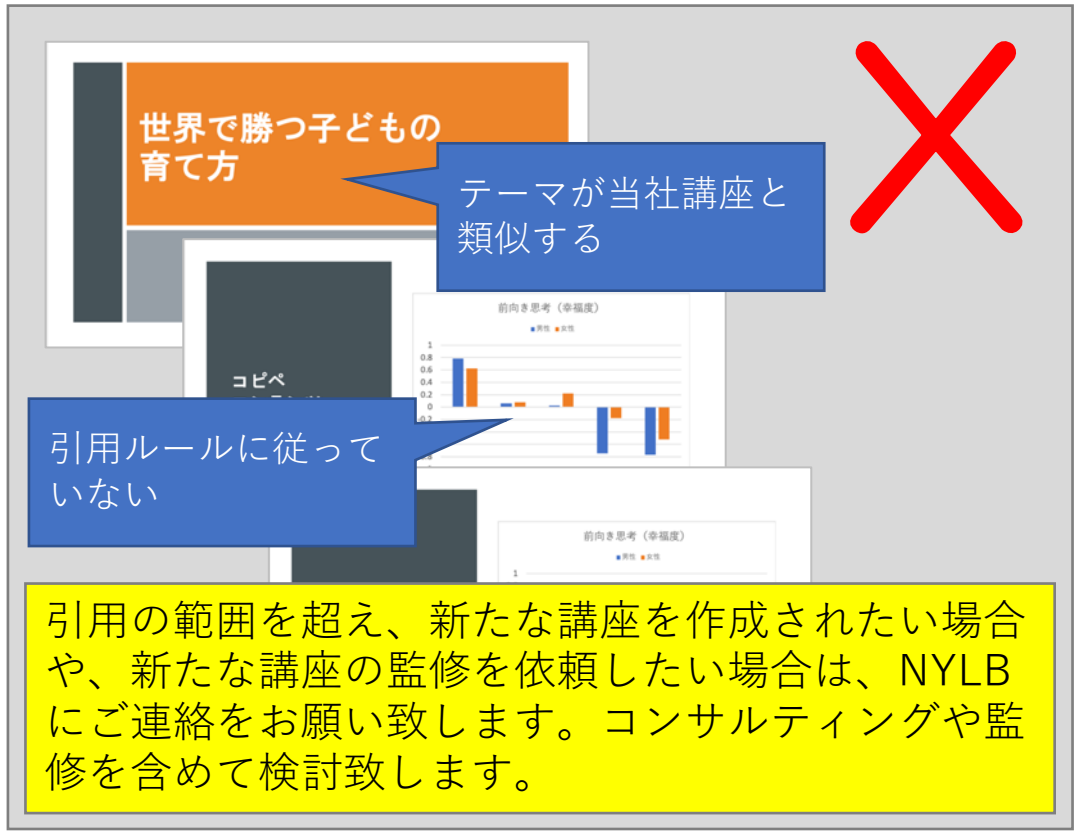
⑤ 書籍・テキストを引用した独自講座の開催

Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

当社講座と類似しない、ご自身が開催されている講座で書籍やテキストを一部引用することは、引用ルールに従っている限りOKです。

OKな教材のイメージ

NGな教材のイメージ

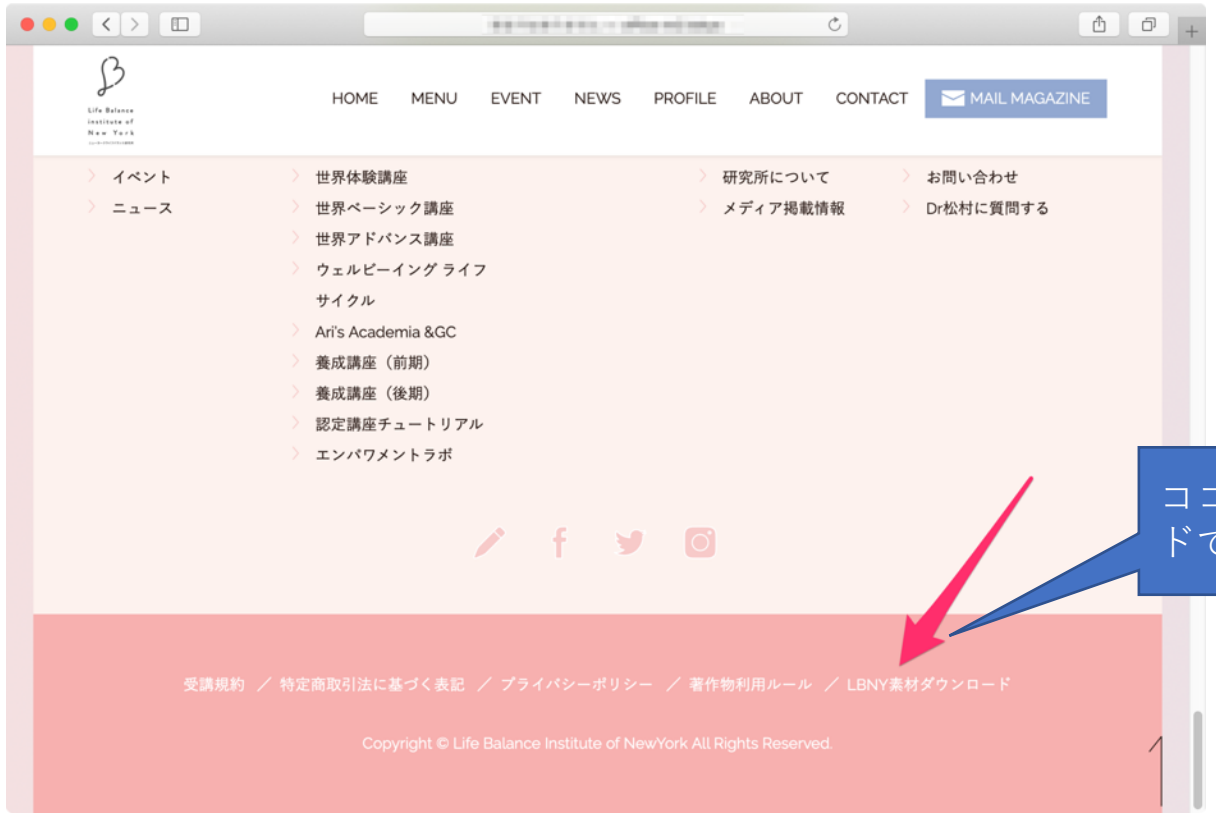


引用の範囲を超え、新たな講座を作成されたい場合や、新たな講座の監修を依頼したい場合は、NYLBにご連絡をお願い致します。コンサルティングや監修を含めて検討致します。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

⑥ SNSやHPで書籍を紹介

書籍の写真や当社代表の写真は、HPに掲載する素材集から
ダウンロードし、使用してください。



ココからダウンロードできます

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

⑦ 当社ロゴの使用

当社から許諾の無い限り、当社ロゴを使用することはできません。

Life Balance
institute of
New York
ニューヨークライフバランス研究所

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

（参考）一般的な引用ルールの遵守

Life Balance institute of New York
ニューヨークライフバランス研究所

著作物を正確に利用する場合は、一般的な引用ルールを遵守してください。

- ✓ 自分の著作物が主（メイン）で、引用部分が従（サブ）であること
  SNSなどので自身が書いた文章の一部に引用することはOK。引用部分が大部分を占めるのはNG
- ✓ 引用部分が他とはっきりと区別されていること
  “”や「」で引用箇所を明示してください。
- ✓ 引用をする必要性があること
  必要ない引用はNG。
- ✓ 出典元が明記されていること
  著作者、出版年月日、タイトル、ページ番号など、出典元が分かるように。
- ✓ 改変しないこと
  変えるのはダメ。

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

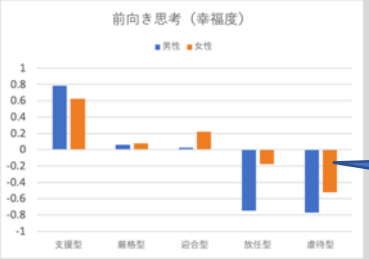
（参考）引用のイメージ　SNSで研究論文を紹介

研究論文を厳密に紹介したい場合は、一般的な引用のルールに従ってください。

OKな投稿のイメージ

今日、NYLBの講座に行ってきました。
＊＊
世界に通用する子どもの育て方　ベーシック講座の中で紹介された研究結果、
「子育てのあり方と倫理観、幸福感、所得形成 ー日本における実証研究ー」神戸大学 西村和雄、同志社大学 八木匡 2016 *1
https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/16j048.pdf
では、「支援的な子育てをしたほうが〇%も幸福度が高い」と紹介されていました。

研究者・論文の出典



グラフや挿絵も引用に留めれば掲載OK

*1 P.16前向き思考のグラフ

Copyright © Life Balance Institute of New York All rights reserved.

Life Balance
institute of
New York

ニューヨークライフバランス研究所